



報道発表資料
令和4年2月16日
国立国会図書館

国際子ども図書館展示会「上野の森をこえて図書館へ行こう！ 世紀をこえる^{レンガ}煉瓦の棟」開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和4年3月22日（火）から5月22日（日）までの期間、展示会「上野の森をこえて図書館へ行こう！世紀をこえる^{レンガ}煉瓦の棟」を開催します。

国際子ども図書館は、明治期に帝国図書館として創建された建物を、当時の内外装の意匠と構造を保存・復元しながら、新たな改修や増築をほどこして2000（平成12）年に開館しました。この展示会では、東京都の歴史的建造物に選定されているレンガ棟を中心に、帝国図書館時代の建築意匠や、国際子ども図書館として生まれ変わるまでの建物の歴史を紹介します。

【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館
企画協力課 03-3827-2041（直通）

【展示会開催概要】

会 期	2022（令和4）年3月22日（火）～5月22日（日）
開館時間	9時30分～17時
休館日	月曜日、国民の祝日・休日（5月5日こどもの日は開館）、 毎月第3水曜日（資料整理休館日）
会 場	〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 国立国会図書館国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
そ の 他	開催予定が変更になる場合があります。最新情報については当館ホームページでご確認ください。
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2022-01.html

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。



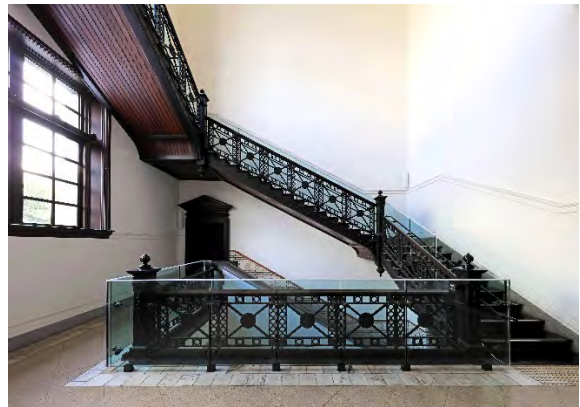
【展示紹介】

※この展示期間中は、普段は撮影禁止の展示会会場を自由に撮影できます。

※以下に掲載している画像をご提供できます。掲載をご希望の場合はお問い合わせください。

◆国際子ども図書館の建物の歴史が分かる

国際子ども図書館の建築について、帝国図書館の建築様式やリノベーションの工程、展示会会場である「本のミュージアム」の意匠などをパネルで紹介します。現代の耐震基準を満たすために取り付けられた免震装置の模型や、当時の漆喰を復元するために使用した道具などの実物も展示します。



▲左側が国際子ども図書館レンガ棟の前景です。右側は帝国図書館創建当時から残る大階段です。現代の安全基準を満たすため、ガラスの手すりが設けられています。



▲レンガ棟は、帝国図書館時代からの内外装を保存しつつ耐震性を強化するために、建物を地盤から切り離して、その間に免震装置を設置しています。展示会会場では、免震装置の模型を展示します。



▲展示会会場の「本のミュージアム」です。この部屋は、帝国図書館時代、普通閲覧室として使用されていました。

左側の画像は、室内と書庫とをつなぐ出入口にある木製建具です。この木製建具は、エディキュールと呼ばれています。エディキュールは、「小さな神殿」を意味しています。

右側上の画像はエディキュールを挟むコリント式オーダーの柱の頭部にある漆喰装飾、右側下の画像は天井の漆喰装飾です。

いずれも、改修により、帝国図書館創建当時の姿に復元されました。なお、エディキュールの左側の扉からは、館内で唯一、レンガ棟建物の構造体に使われている100年以上前の赤レンガを見ることができます。

◆帝国図書館にまつわる文学者を紹介

芥川龍之介、江戸川乱歩、宮沢賢治など、帝国図書館には、後に文学者として活躍することになる人物が数多く訪れました。帝国図書館にゆかりのある文学者たちを、当時の図書館との関わりに触れつつ紹介します。また、帝国図書館が登場する作品や、児童文学作品などもあわせて紹介します。